

PAT-NO: JP407327878A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07327878 A

TITLE: MOP NOZZLE OF VACUUM CLEANER

PUBN-DATE: December 19, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OKADA, IWAO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKADA IWAO	N/A

APPL-NO: JP06214182

APPL-DATE: August 3, 1994

INT-CL (IPC): A47L009/02, A47L009/06, A47L011/20

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a mop nozzle of a vacuum cleaner with the functions of both dust collection and floor cleaning carried out at the same time by one manipulation.

CONSTITUTION: A vacuum cleaner's nozzle 1 is provided with a double-bottomed dust collecting plate 3 supported by sliding rollers 2 in the central portion of the bottom, the plate being slidable crosswise within a longitudinal length of the bottom of the nozzle 1 as well as within a length a little shorter than a afore and aft length of the bottom of the nozzle 1, and a mop 4 of the same size as the plate is fixed to its bottom by a detachable magic tape (registered trademark). Everytime the nozzle 1 in use moves back and forth, the attached plate 3 of the mop 4 slides together with the mop 4 in the direction of the back-and-forth movement of the nozzle 1 by sliding roller function, and the dust collecting opening 5 alternately intervenes at the opposite side of the way the mop slides. Also, the outer surrounding frame 7 of the mop nozzle 1 holds a lower portion of the mop nozzle 1 above a floor surface leaving a given gap between them, and enables the lower portion of the mop nozzle 1 to keep a given dust collecting power.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-327878

(43)公開日 平成7年(1995)12月19日

(51)Int.Cl.*

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 47 L 9/02

D

9/06

Z

11/20

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全4頁)

(21)出願番号

特願平6-214182

実願平6-8224の変更

(22)出願日

平成6年(1994)6月6日

(71)出願人 594106793

岡田 岩雄

大阪市此花区春日出中二丁目10番13号

(72)発明者 岡田 岩雄

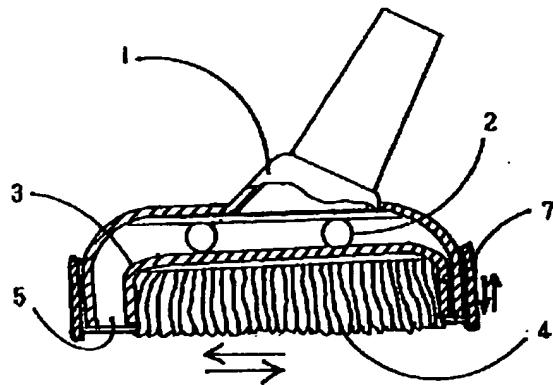
大阪市此花区春日出中二丁目10番13号

(54)【発明の名称】 電気掃除機用モップノズル

(57)【要約】

【目的】 床面等の吸塵作業とモップ掃拭作業の両作業を同一操作で同時に清掃処理する。

【構成】 掃除機用吸塵ノズル本体(1)の底面中央部に滑りコロボール(2)で支え、ノズル本体(1)底面左右幅一杯に前後幅は少し幅狭く、ノズル本体(1)底面内で前後方向に摺動できる二重底の吸塵無吸帶板(3)を設け、その底面に同寸法大のモップ(4)を離着自在のマジックテープ(登録商標)(6)で定着、使用中ノズル本体(1)が前後運動する毎に、モップ(4)の着帶板(3)が滑りコロボール(2)作用でモップ(4)と共にノズル本体(1)の前後操作反動方向に摺動し、そのつど吸塵開口部(5)もまた、モップ摺動方向の反対位置側に交互介在する構成と、なおモップノズル本体(1)の外周外枠(7)で、その下部がモップノズル使用中床面に対し一定の隙間で一定の吸塵力を保持している構造。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電気掃除機用ノズル（1）の底面左右一杯の長さで、前後幅をノズル底面前後幅より少し幅狭にして、滑りコロボール（2）又は駒等で支えた二重底（3）の吸塵無吸帶部を設け、同寸法大のモップ（4）を、その箇所に離着自在のマジックテープ（6）等で定着させているモップノズル（1）で、使用中前進操作でのモップ（4）位置は、モップ取付板が、滑りコロボール等の摺動作により後部位置に転移動し、従ってノズル吸塵開口部（5）はノズル前側にモップ帶に平行して形成され、又その反対にノズル後進使用中は、吸塵開口部（5）はノズル後部位置に移動形成状態となる、本発明モップノズルを、フローリング床、pタイル床、畳み面上等で使用すると、常に前進後進の区別なく吸塵先行型作業状態となり、常時モップ清掃々拭作業が、モップノズル（1）前後使用その都度、吸塵作業処理後の繰り返しの中で可能となり、吸塵と掃拭の両作業が同一同操作で相互干渉なしに進行処理できる電気掃除機用モップノズル。

【請求項2】 本発明モップノズルに外枠（7）を与え、該外枠左右両端側面中心部に、形成した上下遊動用縫溝部に、ビス（8）を合わし入れ、モップノズル

（1）本体の左右同箇所に、外枠（7）の上下遊動性を保っている程度でビス止めし、該外枠（7）の下部両サイド底辺高さを、前後両底辺下部寸法より、約3耗程度プラス寸法差とした外枠（7）の底辺形状とし、従ってモップノズル（1）使用中は、常に床面に接触滑り摺動するのは、外枠（7）の両サイド底辺のみで、該外枠

（7）の前後両底辺下部は、床面に常に接觸する事なく、いつも約3耗程度の吸塵口間隙を保持、吸塵力を一定調整させている外枠（7）で、又この機能形式をモップノズル（1）内側に内装形状化も可であり、両形状を含め、吸塵力一定調整弁の機能構造効果を有している電気掃除機用モップノズル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】フローリング床、pタイル床、畳み面上等の清掃吸塵作業とモップの掃拭作業を相互干渉なしに同時進行出来る電気掃除機用モップノズルに関するもの。

【0002】

【従来の技術】従来は床面等のモップ掃拭作業をする場合は、その先に電気掃除機等で吸塵作業を終へた後からするのが、常手段で、二度手間清掃々拭作業方法であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】電気掃除機吸塵ノズルにモップを取り付け、吸塵と掃拭の両作業を合体して、同一同操作で二作業を同時進行処理したい。

【0004】

2

【課題を解決しようとする手段】電気掃除機用ノズル（1）の底面左右一杯の長さで、前後幅をノズル（1）前後幅より少し幅狭にして、滑りコロボール（2）又は駒等で支えた二重底（3）の吸塵無吸帶部（3）を設け、同寸法大のモップ（4）を、その箇所に離着自在のマジックテープ（6）等で定着させているモップノズル、使用中前進操作でのモップ（4）位置は、モップ取付板（3）が、滑りコロボール（2）等の摺動作によりノズル底面後部位置に転移動し、従ってノズル吸塵開口部（5）はノズル（1）前側にモップ帶に平行して形成され、又反対にノズル（1）後進使用中のモップ位置は、モップノズル（1）の前側に転移動、よって吸塵開口部（5）はノズル（1）後部位置側に移動形成状態となる、尚ノズル本体（1）の外巻き状態に外枠（7）を設け、その下部が殆ど一定の隙間をもって床面につねに上下遊動接觸し、ノズル本体（1）を使用中、吸塵力の一定程度をはかった構造のモップノズル（1）で、本発明モップノズルを、フローリング床、pタイル床、畳み面上等で使用すると、常に前進後進の区別なく吸塵先行型モップ作業状態

20 となり、吸塵作業処理後の繰り返しの中で同時モップ作業が可能となる、吸塵と掃拭の二作業が同時同操作中に相互干渉なしに進行処理できる電気掃除機用モップノズルの構造にして解決。

【0005】

【作用】本発明の電気掃除機用モップノズルの作用は、床面上等の吸塵と掃拭の両作業の同時進行を可能としているため、二作業清掃相乗効果及び、清掃々拭所要時間の大幅短縮効果も多大である。

【0006】

【実施例】ノズル本体（1）の吸込室内で滑りコロボール（2）で支え、摺動性を与えた二重底（3）の無吸帶部面にモップ（4）を離着自在のマジックテープ（6）で定着させ、床面等を清掃使用中そのモップ（4）は、滑りコロボール（2）作用により、ノズル本体（1）作動方向の反対位置側に移動一時停滯をすると同時に、ノズル本体（1）の動きに同調動作を繰り返し、吸塵開口部（5）もまた、その都度前後するモップ（4）の一時停滯位置反対側に、つねに移動形成を繰り返す構造で、またノズル本体（1）の外周外枠（7）の下部が、ノズル本体（1）の使用動作中つねに一定の隙間を床面に遊動保持し適当吸塵力を保ち、本発明モップノズルを使用すると前後操作ごとに吸塵作業先行型を確保しつつ、モップ掃拭作業も同時同操作で両作業相互干渉なしに、順調に進行処理できることが実施実証された。

【0007】

【発明の効果】本考案の電気掃除機用モップノズルは、フローリング床、pタイル床、畳み面上等の清掃時に掃除機本来の吸塵作業と同時同一操作中に、ノズル底面中間帯に取り付けている別作用のモップ掃拭作業も可能と

50 なり、二作業を一度に同時進行処理する機能力がある。

3

従って二作業同時進行の、清掃相乗効果及び、清掃々拭要時間も従来より大幅に短縮となり、なお使用中のノズル吸塵開口部は、ノズル本体の前後方向運行たびに、その都度吸塵作業がモップ掃拭作業より先行する位置側のみに介在移動する仕掛け構造で、吸塵力が片方に集中、全く無駄がなくまたノズル本体外周外枠の効用で使用中つねに一定の強力な吸塵力を継続保持されることになっている、又そのほか便利面ではモップが離着自在のマジックテープ等で定着されているので、汚染時の取り替えも極めて容易にできる等、新規性にすぐれた有効率の 10 高い電気掃除機用モップノズルである。

【図面の簡単な説明】

【図1】 モップノズル本体の左右幅中心部の断面図

4

【図2】 モップノズル底面のモップ一部剥離状態図

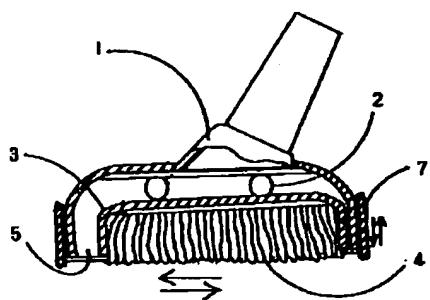
【図3】 モップを取り外したモップノズルの底面図

【図4】 モップノズル外形斜視図

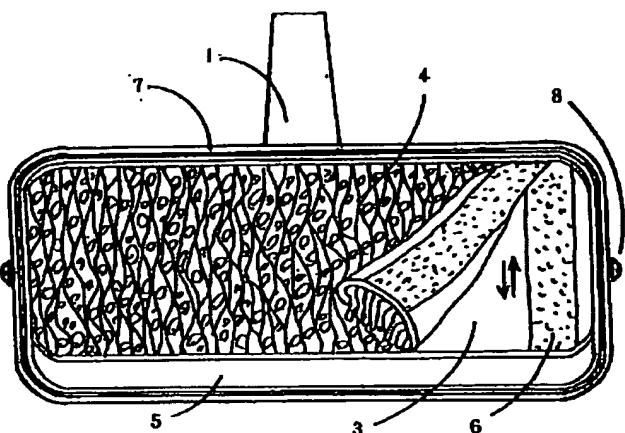
【符号の説明】

1	ノズル本体
2	滑りコロボール
3	二重底モップ着帶板
4	モップ
5	吸塵開口部
6	モップ離着用マジックテープ
7	モップノズル本体外周外枠
8	外周外枠の止めビス

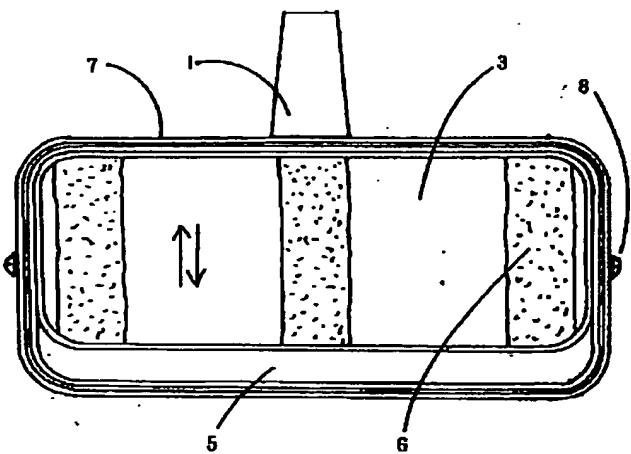
【図1】



【図2】



【図3】



(4)

特開平7-327878

【図4】

